



2024年3月期 第2四半期 決算補足説明資料

2023年 10月31日（火）

ウェーブブロックホールディングス株式会社
証券コード：7940
（東証スタンダード市場）

- 2024年3月期第2四半期業績報告および業績予想修正
- アアルピィ東プラ株式会社との取り組み
- 株主還元
- APPENDIX

■ 売上高 11,774百万円（前年同期比+3.0%）

- 食品用包材、北米自動車メーカー向けパーツ成形販売、テレビモニター向け導光板の仕入販売が増収に寄与
- 原材料価格上昇分の売価転嫁
- 上期予想達成率+2.4%

■ 営業利益 476百万円（前年同期比+6.2%）

- 原材料価格上昇分の売価転嫁や、一部製品の採算見直しなどにより利益率改善
- エネルギーコストなど製造経費の抑制
- 上期予想達成率+58.7%

■ 当期純利益 427百万円（前年同期比△81.3%）

- 前年同期はクリアネイト(株)(旧 (株)ウェーブロックインテリア)株式売却益などの計上があったため減少
- 営業利益の好調、為替差益などの計上により上期予想達成率+137.3%

売上高は想定通り。営業利益以下は上期予想を大幅に超過

- ① ホームセンター向け販売や食品用包材販売において、原材料価格上昇分の売価転嫁や生産性向上
- ② 原材料価格およびエネルギーコストが期初想定より低位に推移
- ③ 間接コストの削減
- ④ 為替差益の増加

(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期 (実績)	2024年3月期 第2四半期 (実績)	増減率	7/31公表 上期予想	増減率
売上高	11,427	11,774	+3.0%	11,500	+2.4%
マテリアル	9,257	9,058	△2.1%	-	-
アドバンスト	2,182	2,719	+24.6%	-	-
営業利益	448	476	+6.2%	300	+58.7%
マテリアル	456	833	+82.5%	-	-
アドバンスト	339	△36	-	-	-
その他	△348	△320	-	-	-
経常利益	655	638	△2.6%	350	+82.3%
当期純利益	2,289	427	△81.3%	180	+137.3%

- 売上高は地中熱ビジネス売上減、中国市場の需要減により下方修正
- 営業利益は売上減などにより下期利益獲得困難も上期実績を受け上方修正
- 経常利益以下は為替差益の拡大により大幅上方修正
 - ・ マテリアルソリューション事業:地中熱ビジネスの売上見通しを下方修正(P.7にて説明)。その他分野でも販売数量減により利益獲得は限定的
 - ・ アドバンステクノロジー事業:北米向けパーツ成形ビジネスの受注は順調に推移し歩留まりも改善傾向。一方、中国市場向け販売は低調。利益は前期比減もEBITDAは前期並み。先行投資に伴う償却負担により成長踊り場局面ではあるが、短中期的な成長期待は揺るがない
 - ・ 原材料価格:国産ナフサ価格は期末に向かい上昇観測に反転。高止まりの原材料価格はさらに上昇懸念。ナフサ非連動の原材料値上げ圧力に加え、エネルギーコスト上昇の影響も

(単位:百万円)

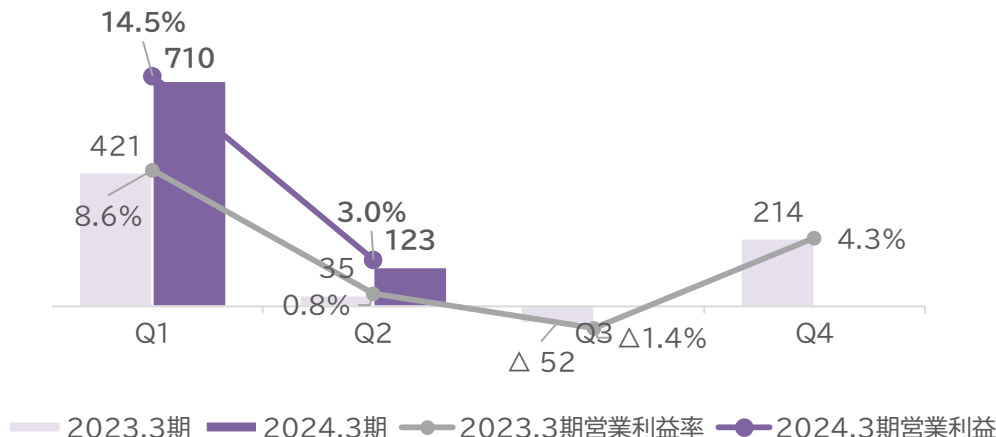
	第2四半期 実績	7/31公表 通期業績予想	進捗率	通期予想 修正	増減比	前期実績
売上高	11,774	23,500	50.1%	22,800	△3.0%	22,584
マテリアル	9,058	18,000	50.3%	17,500	△2.8%	18,069
アドバンス	2,719	5,500	49.4%	5,300	△3.6%	4,545
営業利益	476	370	128.7%	400	+8.1%	346
マテリアル	833	900	92.7%	900	-	618
アドバンス	△36	150	-	150	-	363
その他	△320	△680	-	△650	-	△635
経常利益	638	500	127.6%	660	+32.0%	718
当期純利益	427	270	158.2%	420	+55.6%	2,321

単位:百万円

売上高



営業利益・営業利益率



リビングソリューション:

- ホームセンター向け販売は販売数量減。上期後半からホームセンターの客足は回復傾向にあるものの、需要低調。サッシメーカー向け販売は順調。利益では製品価格値上げの取り組みにより増加

ビルディングソリューションおよびインダストリアルソリューション:

- 前年同期好調だった防煙垂壁向け高透明不燃シート販売が減少も、仮設工事関連向け、路面標示材が堅調に推移。原材料価格上昇分の売価転嫁値上げ効果により利益率改善

パッケージングソリューション:

- 原材料価格上昇分の売価転嫁値上げや新規採用、販売数量の増加により増収。利益も原材料価格上昇分の売価転嫁値上げ効果や生産数量増加に伴う効率改善などにより増加

アグリソリューション:

- 新規受注などにより土木資材は堅調。農業資材は各種キャンペーンの効果により防虫網は堅調も、エネルギーコスト上昇により国内農業生産者による資材への投資意欲が減退し苦戦

売上高見通しを7億円から1.3億円に修正

2023年3月期実績

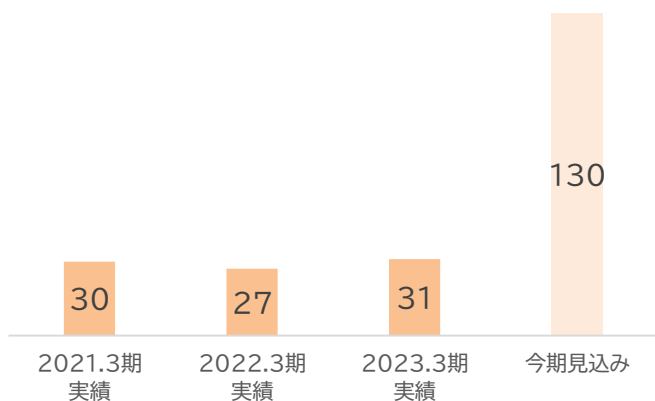
エイゼンコーポレーションの買収および、営業・技術人材の採用に努め、拡販にむけた体制を構築

今期の状況

- 地中熱の活用により空間クオリティを上げたいという市場ニーズは依然として高い
- 期初売上高7億円達成に必要な大型案件の獲得には、前期採用した人員の経験値が不足
- 今期は小規模案件により成功体験を重ね、来期以降の中～大規模案件獲得に備える
- 売上高見通し修正に伴い利益も減少

地中熱関連工事売上高

(単位:百万円)



既存事業との組み合わせによる新たな価値提供事例

地中熱システムによる
施設内空調管理



施設園芸



農業資材により日照量
などを調整し、さらなる
生産性向上

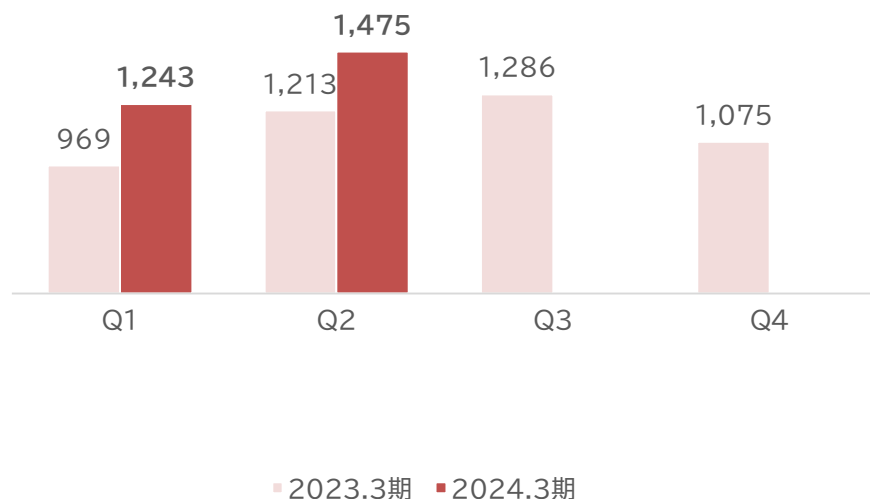
工場



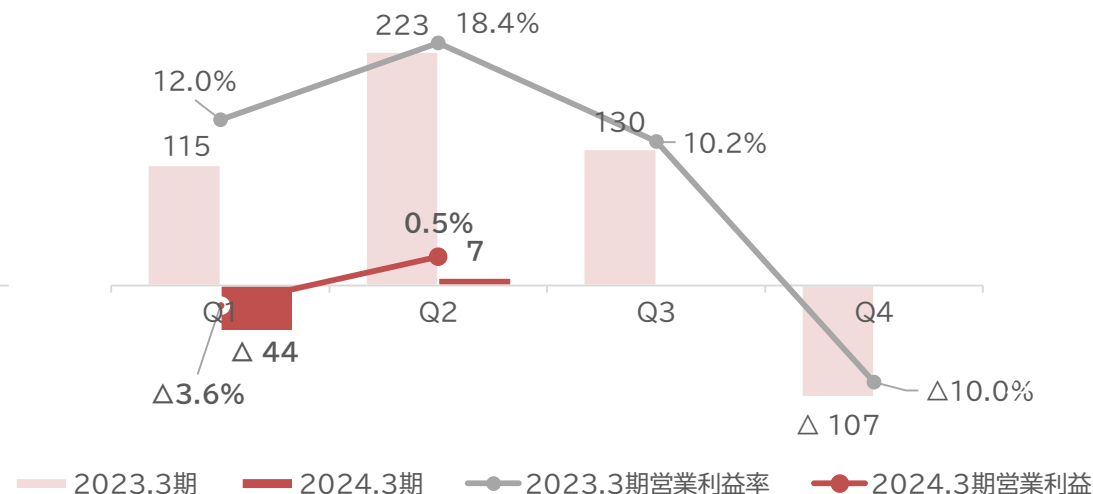
シートシャッターにより
アクセスしやすい開放
的かつ機能的な空間を
提供

単位:百万円

売上高



営業利益・営業利益率



デコレーション&ディスプレイ:

- 北米で開始した金属調加飾フィルムのパーツ成形販売が増収に寄与。第1四半期に苦戦した北米成形工程における収率は改善傾向。名古屋工場、北米拠点ともにEV車向けエンブレム量産開始に向け対応を進める。フィルム販売は採用車種のモデルチェンジ前倒しによる減産や中国のコロナ渦からの回復低調などにより想定を一時的に下回る
- 自動車向け内装ディスプレイ用途の高透明多層フィルムはCIDやHUDの採用拡大するも、採用車種の中国市場での販売不振により低調
- 事業拡大のための設備投資に伴う減価償却負担増加や販売数量減少などに伴う製造効率低下により前期比減益ではあるものの、短中期的な成長期待は揺るがない

その他:

- テレビモニター用導光板の販売開始も、仕入販売のため利益への影響は些少

アールピー東プラ株式会社(以下、RP東プラ)の株式20.32%を取得し、持分法適用会社化（6月完了）

■ 目的

両社の事業拡大および企業価値向上を図る

■ 目的遂行のための戦略目標

● 両社のビジネスを起点とした事業基盤強化

共通市場分野が多い一方、製品ラインナップは異なりシナジー創出の可能性大。

国内及び海外製造拠点においても地域的重複は殆どない。

● 両社アセットを有効活用し、事業再構築による収益力の強化と成長軌道を確保

既存事業の収益力強化、並びに両社アセットを有効活用した事業規模の拡大。

● 生産・物流・組織の最適化

■ 進捗

現在5つのタスクを抽出し検討・推進中。海外展開含め、順次新たなタスクを追加予定

	タスク	具体的な取り組み
生産効率向上	① 生産の最適化	食品用包材生産の集約化の検討・促進
売上高向上	② 営業力の強化	RP東プラの技術を活用した製品展開による新規顧客およびニーズの開拓
	③ 環境対応製品の共同開発	両社既存開発製品及び新規素材の共同開発検討
コスト削減	④ 購買力の強化	生産集約化に紐づく原料共同購買、主原料の最適共同購買の推進
	⑤ ロジスティクスの合理化・効率化	共同物流及び新規含めた最適倉庫スペースの検討



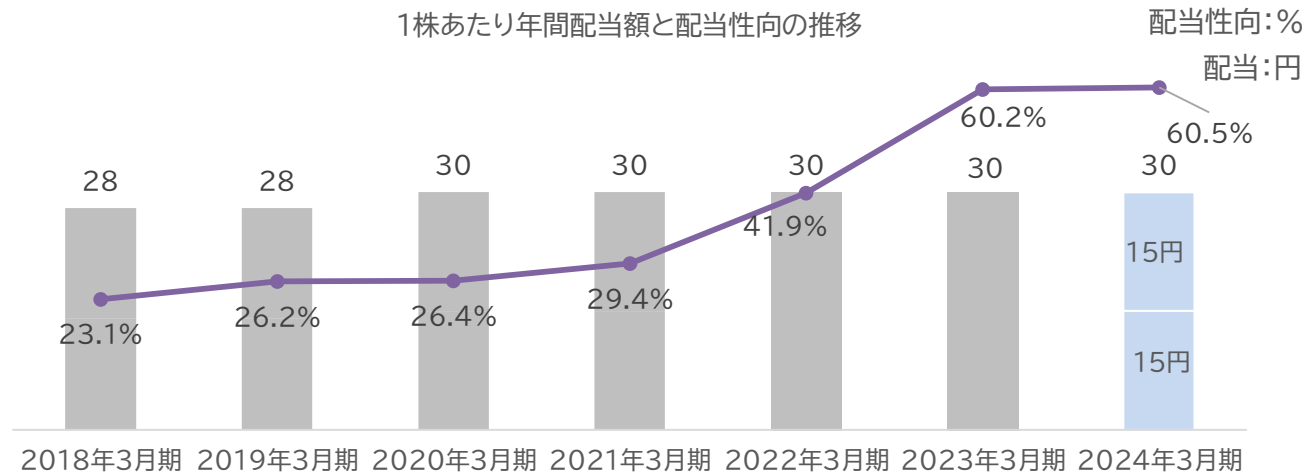
提携進捗に応じ、さらなる関係強化を検討

■ 基本方針

- 配当性向35%以上を目安に、単年度の業績ボラティリティに左右されない安定的な配当を維持

■ 2024年3月期 配当見通し

- 第2四半期末、期末それぞれ1株あたり15円(通期30円)
- 配当性向:60.5%



※ 2020年3月期までの配当性向は負ののれん償却額の影響を考慮した配当性向(負ののれんは2020年3月期に償却が終了)

※ 2021年3月期および2023年3月期の配当性向はクリアネイト(株)(旧(株)ウェーブロックインテリア)株式譲渡による影響を除いて算出

APPENDIX

(単位:百万円)

	2024年 3月期 第2四半期	前期末比		2024年 3月期 第2四半期	前期末比
資産合計	27,656	+1,388	負債・純資産合計	27,656	+1,388
流動資産	17,244	+698	負債	11,466	+1,031
現預金	2,744	+291	営業負債	2,727	△ 12
営業債権	6,123	+406	有利子負債	4,703	+1,230
棚卸資産	8,063	+180	未払法人税等	153	△ 280
その他	312	△ 180	その他	3,881	+92
固定資産	10,411	+689	純資産	16,190	+356
固定資産	8,647	+211	株主資本	15,905	+299
その他	1,763	+478	その他の 包括利益他	284	+56

RP東プラ(株)株
式取得等+487

- 当期純利益純利益+427
- 配当支払い△127

■ 現金及び現金同等物 2,744百万円（2023年3月期末より291百万円増加）

（単位：百万円）

2024年3月期第2四半期	
税金等調整前当期純利益	638
減価償却費	371
運転資本増減	△ 546
法人税等の支払額	△ 499
その他	253
営業キャッシュ・フロー	217
固定資産の収支	△ 584
投資有価証券の収支	△ 465
その他	66
投資キャッシュ・フロー	△ 983
フリーキャッシュ・フロー	△ 766
借入金・社債の収支	1,230
配当金の支払	△ 127
その他	△ 9
財務キャッシュ・フロー	1,094

• R P 東プラ（株）
株式取得

- 9/25のNIKKEI GXおよび10/16の日経産業新聞に、当社の地中熱ビジネスが取り上げられました
- 8月21日発売の日経マネー、第2特集「相場が上げても下げても勝てる 個別株 全天候型投資のワザ」(P.76)で、当社が紹介されました

本資料における見通しは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。
本資料に記載されている内容・写真・図表等の無断転載を禁止します。